

福岡医発第1172号(地)

平成17年9月22日

各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会
会長 竹嶋 康

「糖尿病予防のための戦略研究」のシンポジウム・公募説明会の開催について

標記の件につきまして、日本医師会より別添のとおり通知がありましたので、ご参考までにお送りいたします。

糖尿病予防対策については、今後更なる推進を図るため、厚生労働科学研究費補助金（循環器疾患等総合研究事業）の研究課題として、本年度から「戦略研究（糖尿病予防のための戦略研究）」が実施されることになりました。

本件は、これに伴い本研究実施にあたるシンポジウムと公募説明会が9月27日（火）13時30分から文京シビックホール（東京）において開催される旨の通知であります。

つきましては、受講を希望される方は直接、財団法人国際協力医学研究財団（〒162-0052 東京都新宿区戸山1-21-13 E-mail:kokusai2@bird.ocn.ne.jp）までお申し込み下さいますよう貴会会員に周知方よろしくお願い申し上げます。

小郡三井医師会より

担当理事 永田正和



(地Ⅲ 9 7 F)

平成17年9月21日

都道府県医師会担当理事 殿

日本医師会常任理事
土 屋

「糖尿病予防のための戦略研究」のシンポジウム・公募説明会の開催について

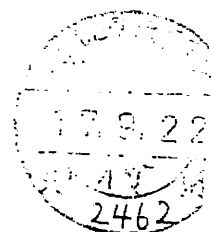
時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、糖尿病予防対策の更なる推進を図るため、厚生労働科学研究費補助金(循環器疾患等総合研究事業)の研究課題として、本年度から「戦略研究(糖尿病予防のための戦略研究)」が実施されることになりました。

本研究は、①2型糖尿病発症予防のための介入試験、②2型糖尿病患者の診療中断率改善のための介入試験、③2型糖尿病の血管合併症抑制のための介入試験、の3題について行われる予定であります。特に②2型糖尿病患者の診療中断率改善のための介入試験につきましては、4か所の地域での実施が予定されておりますが、実施地域医師会に深く関与していただくものと考えております。

つきましては、9月27日(火)13時30分から文京シビックホール(東京)において開催される本シンポジウム・公募説明会の案内をお送りいたしますので、ご関心があります場合には、本シンポジウム・公募説明会の主催である財団法人国際協力医学研究財団(〒162-0052 東京都新宿区戸山1-21-13 E-mail:kokusai2@bird.ocn.ne.jp)にお申し込みいただくようご案内申し上げます。

なお、公募案内書及び研究計画書書式は、説明会会場で配布されますが、追って貴会宛お送りさせていただきます。



平成 17 年 9 月 15 日

関係各位

財団法人国際協力医学研究振興財団

理事長 織田 敏次

(公 印 省 略)

「糖尿病予防のための戦略研究」のシンポジウム・公募説明会のお知らせ

糖尿病予防対策の更なる推進を図るため、厚生労働科学研究費補助金(循環器疾患等総合研究事業)の研究課題として、本年度から「戦略研究(糖尿病予防のための戦略研究)」が実施されることになりました。その実施主体として、平成 17 年 6 月 23 日に開催されました厚生科学審議会科学技術部会において、本財団が選定されたところであります。

つきましては、本研究実施にあたりシンポジウムと公募説明会を 9 月 27 日(火)13:30 文京シビックホールにおいて開催いたしますので、ご多忙中のところ恐縮に存じますが、多数のご参加をお待ちしております。

関係部署への周知をお願いいたします。

(詳細につきましては、財団ホームページに掲載しております。)

添付資料

1. 「糖尿病予防のための戦略研究」シンポジウム・公募説明会のプログラム
2. 戦略的アウトカム研究策定に関する研究

日時: 平成17年9月27日

場所: 文京シビックホール

文京区春日 1-16-21

「糖尿病予防のための戦略研究」シンポジウム・公募説明会

主催:財団法人国際協力医学研究振興財団

1. 「糖尿病予防のための戦略研究」シンポジウム

13:30～13:50 <開 会> 織田 敏次 (財団法人国際協力医学研究振興財団理事長)

<挨拶> 中島 正治 (厚生労働省健康局長)

<挨拶> 矢崎 義雄 (糖尿病予防のための戦略研究運営委員長)

13:50～15:50 <基調講演>

「戦略研究」について

黒川 清 (日本学術会議会長)

<シンポジウム>

座 長: 黒川 清 (日本学術会議会長)

1) 矢島 鉄也 (厚生労働省健康局生活習慣病対策室長)

「糖尿病予防のための戦略研究の概要」

「2型糖尿病発症予防のための介入試験について」

2) 福原 俊一 (京都大学大学院医学研究科医療免疫学分野教授)

「2型糖尿病患者の診療中断率改善のための介入試験について」

3) 山田 信博 (筑波大学臨床医学系内分泌代謝学教授)

「2型糖尿病の血管合併症抑制のための介入試験について」

<閉 会> 笹月 健彦 (国立国際医療センター総長)

———— コーヒーブレイク ————

2. 「平成17年度糖尿病予防のための戦略研究」公募説明会(16:00～16:30)

事務局:財団法人国際協力医学研究振興財団

〒162-0052 新宿区戸山 1-21-13

e-mail:kokusai2@bird.ocn.ne.jp

糖尿病予防対策研究 (Japan Diabetes Outcome Intervention Trial: J-DOIT)

研究課題名	J-DOIT1	J-DOIT2	J-DOIT3
アウトカム	IGT (Impaired Glucose Tolerance: 耐糖能異常) から糖尿病型への移行率が半減する介入方法の研究	糖尿病患者の治療の中断率が半減する介入方法の研究	糖尿病合併症の進展を30%抑制する介入方法の研究
研究方法 〔対象(属性、数、抽出・登録・割付等)、介入方法、精度管理、収集データ(項目、時期、頻度)分析方法、その他〕	地域・職域健診の要指導者で30-64歳IGT 4,500名。 全国で20グループを編成。 対面型個別指導群、非対面型(IT) 個別指導群、集団指導(対照) 群に無作為割付。 対面またはIT活用等による生活習慣(食事・身体活動中心) 介入プロトコルを定めて実施。 医学的検査は登録時、最初の6ヶ月間は月1回、それ以降は3ヶ月毎に実施。 登録者全員を解析対象とする。	都市部(人口10-20万程度)に在住し、かかりつけ医で治療するⅡ型糖尿病患者。糖尿病診療達成目標を地区医師会全体で共有し、目標達成のための支援としての「患者指導コメディカル派遣・IT診療支援群」「対照群」に割付。初年度は数地区でパイロット研究を行い、本試験の手法および実施可能性等について検討する(約1,800人)。 医学的検査・治療の実施率は、登録時、約3ヵ月ごとに測定。 登録全地区・患者全員を解析対象とする。	HbA1c $\geq$ 7.0% Ⅱ型糖尿病患者で、収縮期血圧 $\geq$ 140または拡張期 $\geq$ 90mmHgかつ脂質代謝異常のある40-69歳の3,000名。 強化治療群、通常治療群に無作為割付。 生活習慣(減量、食事、運動、禁煙)、血圧、脂質、血糖への介入方法を定めて実施。 医学的検査は登録時、定期的来院時、一年ごと。 登録者全員を解析対象。
その他 必要事項	サンプルサイズの縮小、研究グループ単位で審査、予算規模	パイロットスタディ、糖尿病診療達成目標(共通)の作成、患者指導コメディカルの訓練・派遣方法整備、IT診療支援システム開発・実証試験	中央検査項目の選定、モニタリングネット整備、中断者の要因・動態分析